



IBARAKI TOYOPET
RACING TEAM

GR86/BRZ Race

F4で優勝経験もある岡山で期待された激走
追撃最中の接触により、無念のリタイアを喫す



OKAYAMA International Circuit
岡山国際サーキット

プロフェッショナルシリーズ 第4戦

決勝 Race : 7月2日(日)

会場 : 岡山国際サーキット (岡山県美作市滝宮)

天候 : 雨のち曇り

決勝レース : 12LAP (28台出走)

結果 : 予選 19位 / 決勝 リタイア

ドライバー : 平木 湧也

チーフメカニック : 大友 晶弘 (営業支援部)

メカニック : 梶山 健太 (日立田尻店)

メカニック : 野口 泰之 (神栖店)



GR 86/BRZ レース プロフェッショナルシリーズの第4戦が、岡山国際サーキットで7月1~2日に開催された。茨城トヨペットレーシングチームの擁する平木湧也選手にとって、現在も併せて挑むFIA-F4はもとより、2014年にチャンピオンを獲得したJAF-F4でも多くのレース経験を持つコースでの戦いになる。特にJAF-F4では優勝経験もあって相性も抜群。今まで以上の好結果を望むべく、早々にコース入りして準備を整えることとなった。

しかし、「晴れの国おかやま」というキャッチフレーズとは裏腹に、梅雨時ということもあって、大半が不安定な天候の下での走行になってしまう。その一方で、ウェットコンディションのセットアップは順調に進み、上位陣とも遜色のないタイムを出せるようになっていた。



4日目に、駆動系のトラブルに見舞われるもメカニックの懸命な作業により走行を再開。専有走行が行われた土曜日午後になって、ようやく完全なドライコンディションに恵まれるも、著しい気温の上昇とも相まって、シャシーバランスの悪化が明らかに。アンダーステアに苦しめられたことから、セッション中にセッティングを改めることとなる。これが功を奏して、後半には1分53秒台を連発。決勝レースに向けては手応えを得ることとなったものの、予選の一発を望むべく、終了後にはあらためて「茨城トヨペット86」にセッティング変更を行うこととなった。

日曜日の午前に行われた予選も、真夏を思わせる暑さの中、引き続きドライコンディションでの走行となった。平木選手は計測開始と同時にコースインし、アウトラップをウォーミングアップに充てて、さっそくアタックを開始する。激しくコースを攻め立て、まずは1分52秒502をマークして13番手に

つける。平木選手はさらにもう1周アタックを行うも53秒143と、タイムダウンしていたこともあり、ピットに戻る事となった。

セッション前半はピットに待機し、後半にアタックしたドライバーもいたことから、「茨城トヨペット86」を駆る平木選手は19番手、10列目アウト側のグリッドから決勝に挑む事となった。「予選の前にセットを変えて、良くなっているのは感じられましたし、僕自身アタックはミスなくまとめられたつもりですが、全体の中では思ったよりも伸びなかったですね。決勝は混乱も起きやすいポジションからのスタートになりますが、うまくいかくぐってきて順位を上げてきたいと思います」と平木選手。

予選の後、空模様は一気に怪しくなって、上空には灰色の雲が立ち込めるように。途中に行われたクラブマンシリーズの決勝では、ゴール間際に雨が降ったほどだった。それがついにプロフェッショナルシリーズのスタート進行を間近に控えた段階で、本格的に降り始めてしまう。瞬く間に路面が濡れる中、「茨城トヨペット86」と平木選手はグリッドに進んでいく。

多くのドライバーがコンディションの変化に不安そうな表情を見せる中、「ウェットでは調子良かったので、不安はありません」と、むしろ笑顔を見せていた平木選手。そんな気持ちが届いたのか、フォーメーションラップが始まる直前にはほぼ雨はやんで、コンディションがそれ以上悪化することはなかった。それが影響して、みな慎重になっていたのか、このところ続いているスタート直後の混乱もなく、オープニングラップは終了する。

平木選手は無難なスタートを切り、1コーナーで1台をパスし、さらにもう1台に2コーナーで並んでモスSをクリア。そしてアトウッドで、ようやく前に出ることに成功する。オープニングラップのうちに17番手に上がった平木選手は、15番手を争うグループの中でさらにポジションアップの機会を待つ。その目の前にいるのは谷口信輝選手、山田英二選手といったベテランドライバー。相手に不足はないどころか、ともにクリーンなバトルに定評がある。信頼して攻めることもできたことから、4周目にはレース中の自己ベストとなる1分33秒312をマークする。そして5周目には谷口選手をかわして、ひとつポジションをアップ。

ところが6周目に入ると、バイパーコーナーで接触が！ リボルバーコーナーから併走する形でイン側を取った矢先のアクシデントだった。不運にも右フロントのホイールが損傷し、やがてタイヤにもダメージが及んだこともあり、やむなく平木選手はWヘアピンでマシンを止める事となった……。

ここまでの3戦すべて完走を果たしてきただけに、初のリタイアは悔やまれる結果である一方で、バトルを練り広げながらもタイムを安定して刻んだ経験は、きっと今後活かされるはず。次回のレースは、7月29～30日に北海道の十勝スピードウェイで2連戦として開催される。平木選手にとって初めて挑むコースながら、気持ちも新たに活躍を期待したい。

平木湧也選手のコメント



路面が濡れている状態の中、ペース自体は決して悪くありませんでした。ただ、前が競り合っている中で、状況を見極めながら一台ずつ抜いていくことができたのですが、ヘアピンでサイド・バイ・サイドになって、たぶん当たりどころが悪かったんでしょう、ホイールが割れてパンクしてしまったので、コース脇にクルマを止めざるを得ませんでした。まわりの状況を見れば、もしかしたら入賞、あるいは一歩手前までは行けたと思うと、ちょっと残念です。ただ、ペースが良かったなら、もうちょっと落ち着いていけば良かったかなというのも正直なところですけど、まわりもイケイケなので自分も行くしかありませんし……。ただ、このレースも4戦目で、クルマもやっとなんていい状況になってきて、僕自身も86の走らせ方を勉強させてもらっているんで、少しずつ良くなっていると思います。もうちょっと行けるな、というところも見えたので、次の十勝は走ったことはありませんが2レースあるので、しっかり詰めていきたいです。

チーム監督のコメント ～営業支援部 石川 一郎～



GR86/BRZ Race 第4戦 岡山国際サーキットの結果は、予選:19位、決勝:リタイア
ご支援、ご声援いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。
第4戦 岡山は、テスト初日から雨が降ったり止んだりと難しいコンディションの中
スタート。降り続いた大雨の影響を受け、セットアップの微妙な違いに苦戦するもス
タッフ全員で車両のセットアップに全力を尽くしました。また、4日目には、駆動系
のトラブルに見舞われましたがメカニックの懸命な作業により走行を再開。気温 35
度、湿度 80%の中でも迅速かつ正確に対応してくれたメカニックの皆さんに感謝です。

6月28日～7月3日の6日間いろいろあり大変でしたが、終始にこやかな雰囲気の中、全員で楽しみながら
協力しベストを尽せました。次戦は、十勝インターナショナルスピードウェイで第5・6戦が開催されます。
今後ともご声援、よろしくお願いいたします。

チーフメカニックのコメント ～営業支援部 大友 晶弘～



前回に引き続き、チーフエンジニアとして参加させていただきました。サーキットや
天候によりセッティングを合わせる難しさであったり、機械的トラブルであったりと
非常に内容の濃いレースでありました。しかし、チーム一丸となって非常に良い雰囲気
で楽しめたレースでもありました。中でも初参戦となる、梶山さん野口さん。初日
は普段と全く違う環境、雰囲気で戸惑う姿はありましたが、すぐにいつもどおりの作
業姿勢に修正し、対応力の高さを最大限発揮してくれていました。走行を重ねる毎に、
新たな問題点等発生してきますが、チーム力も同時に上がってきてますので、今後の

レースも非常に楽しみです。店舗の皆様のご協力があるの茨城トヨペットレーシングですので、今後もご
支援をお願い致します。

メカニックのコメント ～日立田尻店 梶山 健太～



今回の 86. BRZ. レース研修を通して、主に車量のタイヤ空気圧(内圧調整)をやらせて
いただきました。普段の仕事ではタイヤの空気圧は10分の1までしか調整しませんが、
レースでは100分の1の単位まで調整し、タイヤが冷えている時の温度と走行後
の温まった温度の計測をして、路面温度にあった調整をしました。また、足回りプ
レーキ周りの調整もドライバーに合った車高、プリロード、減衰力、の調整をしました。
ほんの少しの調整でもドライバーのフィーリングが変わりとてもシビアだと感
じました。初めは、興味はなく旅行気分でしたが日に日にレースにのめり込み最終日、決

勝ではドライバーと一緒に走る感覚で是非勝っていただきたいと心から思いました。今回の研修は色々な
トラブル、ハプニングがありとても内容の濃い6日間になり思い出に残りました。店舗に帰ったら、他のエン
ジニアにも今回の研修内容を展開し是非行っていただきたいと思い、茨城トヨペット 86 レースを盛り上げて
いきたいと思いました。最後に、石川さんを始め関係者の方々、店舗の協力により、レースに行けた事を感
謝いたします。そして、残りのレース体に気をつけて頑張れ平木ブラザーズ！

メカニックのコメント ～神栖店 野口 泰之～



今回、岡山にて 86/BRZ レースに参加させて頂きました。初日、2日目と車高、プリロ
ード、減衰力などの車両の調整をさせて頂いて、天候や路面温度、様々な要素により
車両のセッティングが変わることに驚きをおぼせませんでした。4日目には不具合に
よりミッション交換をさせて頂き、とても貴重な体験が出来ました。研修を通して
レースメカニックのノウハウだけではなく、レースそのものに興味を持って、改めて車
が好きだと実感出来ました。今回、本社や店舗の皆様、関係者各位の皆様のご協力に
より大変貴重な体験が出来たことに深く感謝し、この体験を皆様に伝える事で、

86/BRZ レースを大いに盛り上げていき、次の機会も是非参加させて頂きたいと思
います。そして、ドライバー平木兄弟の今後の活躍にも注目です。チャンピオン目指して頑張ってください。